

【開会のことば】

三重県議会議長 田中 覚 氏



皆さん、こんにちは。本日はこのようなたくさんの先生方に公私ご多用の中でありますけれども、お時間をお割きいただき、議会改革の勉強会にご参加をいただきましたことを心から御礼申し上げる次第でございます。

また、キー・ノート・スピーチをお願いいたしました和歌山県議会議長吉井先生には大変ご迷惑をおかけしましたことを高いところからではありますけれども、御礼を申し上げます。

この都道府県会館で一番広い会議室を予約させていただきました。最初はテーブルを用意させていただいておったんですが、先生方のご参加が日増しに増えてまいりました。したがって、机を入れることができず、また窮屈な中で本日の勉強会にご参加をいただきますことを本当に申し訳なく思っておりますけれども、志が同じ議会議員、こんなにたくさん時間を割いてお入りをいただいた、逆に喜びの方が多いわけでございます、どうか窮屈な中でありますけれども、しばらくの間ご辛抱をお願い申し上げます。

地方分権一括法が施行されて6年が経過をいたしました。国の方では、私たちの地方議会の制度を少しずつ見直してはいただいておりますものの、なかなか地方議会の中身まで、現実まで、また諸課題までなかなか踏み込んで制度改正には至っておりません。この勉強会を通じて、私たちの持ち合やす例えば議決機能、監視・評価機能、立法機能がそれぞれの限界をもし探ることができれば今日一日の意義があるのではないかな、そんなことを強く思わせていただいているところでございます。

どうか、限りある時間でありますけれども、この会議を通じまして先生方の活発なご意見をいただきますよう心からお願いを申し上げまして、開会に際しての御礼にかえさせていただきたいと思っております。本日はどうもありがとうございます。